



自然の恵みと災害の脅威、上手に向きあって暮らしていくためには・・・



丸くふくらんだ花卉のガクが特徴

エドヒガンは自生する桜の中では最も長寿の桜であり、個体数が少なく分布する地域に偏りがあり、貴重です。3月半ばから4月半ばにかけて、濃い色や薄い色など様々な色合いの花を咲かせ、個性を楽しむことができます

百年橋（箕面大滝の北）近くの斜面に自生するエドヒガンの群落



2018年9月台風21号による百年橋近くの風倒木

箕面の山には、風化が進んだ古い地質（超丹波帯）が分布しており、30°以上の急傾斜地も多く、多くの断層が走っており、地盤がもろく、地滑りや斜面の崩壊が起こりやすい地形や地質です。

猪名川上流部でも多くのエドヒガンの群落が見られますが、これらの地域の崩れやすく、裸地になりやすい地形や地質の特性が、エドヒガンの生育に適していると考えられています。

豊かな自然の恵みと災害の脅威（地滑りや斜面の崩壊が起こりやすい地形や地質）に、上手に向き合っていくための長期に渉る取り組みが必要となっています。

豊かな自然の恵みと災害の脅威

市街地の背後に山がせまり、四季折々に美しい山なみ景観は大阪のベッドタウンである箕面の魅力のひとつです。箕面大滝と急峻な渓谷美、明治の森箕面国定公園に代表される身近で豊かな自然を求めて、外国人を含めた多くの観光客や行楽客が訪れ、地域の活力の源になっています。

一方で、過去に台風 河川の氾濫や土砂崩れなどが何度も発生し、人命や財産を奪われる被害を経験してきました。昨今の大型台風の発生や短時間強雨の増加は、気候変動による気象の極端化に起因すると考えられ、風水害や土砂災害のリスクが増大しています。

災害に強い森づくりのためには・・・

森林には、レクリエーションの場や自然景観、生物多様性保全など、多面的な機能がありますが、災害に強い森づくりのためには、水源涵養や土砂の流失や土砂災害を防ぐ機能に注目する必要があります。

①農業や生活において利用されなくなり、災害防止機能が低下した里山の手入れの問題、②手入れをしても、増えすぎたシカによる食害のために、植生が復活しないという問題などに着目して災害に強い森づくりを考えます。

スギ・ヒノキの人工林の風倒木被害



明治の森箕面国定公園内の風倒木被害

放置されたスギ・ヒノキ林は、木の幹が細く、根も発達しておらず、台風などで倒れやすく、下層の植物は少なく、**土砂流出などの現象**も発生しています。

昨年(10月)今年(9月)と続いた台風の影響による倒木被害の多くは、手入れがされていないスギ・ヒノキの人工林で発生しました。

箕面の山では、市街地に近い山麓部の一部(ウツギ谷など)と明治の森箕面国定公園(国有林)などでスギ・ヒノキの人工林が見られます。

倒木を放置しておく、流木による二次災害のリスクがあり、山麓部で適切な対策の早期実施が望まれます。

市街地に近い山麓部の8割は、約350人が所有する民有地ですが、農業や生活に利用されることがなくなり、多くは放置されています。山麓保全ファンドの助成を受けた山林整備が行われていますが、面積的には不十分であり、さらに多くの山林所有者や市民ボランティアの皆さまの理解と協力が必要となっています。

また、山の手入れを行い、光が入った林床から幼木が芽生えても、増えすぎたシカに食べられてしまい、自然植生が回復しないという課題が顕著になっています。

増えすぎたシカによる影響と被害

【植生や森林更新への影響】



シカが増えると、植生自体が減るとともに、シカが嫌いな植物だけとなり、生物多様性が著しく低下します。

また、森林更新には長い年月が必要であり、次世代の稚樹の発育は必須です。後継樹がシカに食べられることにより、森林更新が不可能となります。

【水源地の崩壊、土砂崩れの原因】



箕面の鉢伏山の山頂

シカは地表の植物だけでなく、冬には落ち葉など(リター層)も食べます。

裸地化すると、土壌がむき出しとなり、雨が直接地面にあたり、土壌は崩れて流されてしまいます。降った雨を蓄える水源涵養機能が損なわれて、土砂崩れを引き起こす原因にもなります。

他の生き物への影響

シカが増えると、シカが嫌いな植物だけになってしまっています。

シカに食べられた植物を食べていた昆虫などはエサを失い、数を減らしてしまいます。

野鳥や哺乳類など、多くの生き物に大きな影響を与えます。

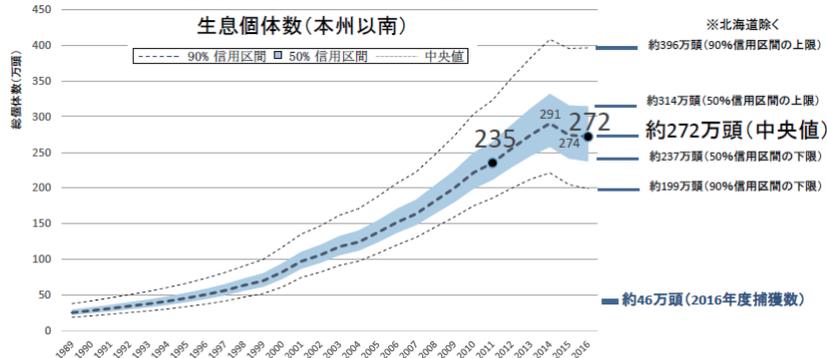
人の生活への被害

シカが増え、寄生するダニの分布域が広がっています。ダニに刺されることによる感染症のリスクが増えています。

農林業への被害

農林水産省によると、2017年度のシカによる農作物被害は約56億円となっています。

《急増したニホンジカの生息数の推移》



環境省の資料(2018年10月)から引用

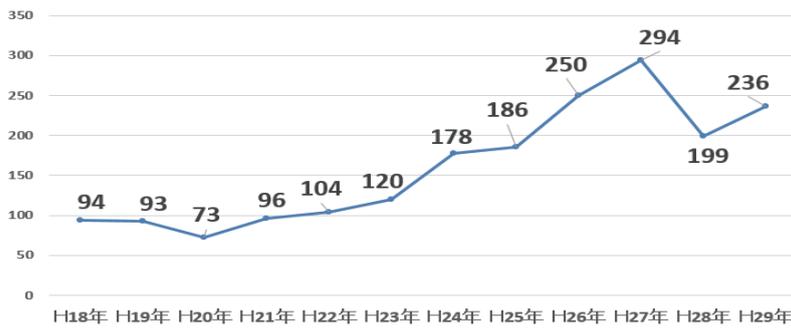
ニホンジカの急速な生息数の増加や生息域の拡大により、自然生態系、農林水産業及び生活環境に深刻な被害を及ぼしており、積極的な個体数管理(捕獲)が不可欠となっています。環境省と農林水産省は、2023年度末までに**個体数を半減**することを当面の捕獲目標として設定しました。

環境省の発表によると、2016年度の全国のニホンジカ(北海道を除く)の推定生息数は、約272万頭となっています。捕獲数は約46万頭であり、今の捕獲率の約1.45倍の捕獲を続ける必要があるとしています。

増えすぎたシカ害対策への取り組み

【個体数管理(捕獲)】

シカの捕獲状況(箕面市)



箕面周辺でのシカ生息密度(2017年)は、約 17 頭 / km²(箕面市)・12 頭 / km²(国有林)と推定され、箕面市北部などに高密度地域があります。

10 頭 / km²程度を上回ると、森林の下層植生の衰退が進行し、農業被害も増加します。適正な生息数であるためには、更に個体数管理(捕獲)を強化する必要があります。

【モニタリング調査】



市民団体が維持管理に協力

地点ごとの撮影頻度を分析

山間・山麓部 29ヶ所に自動撮影カメラを設置して、地点ごとの撮影頻度を分析しています。あわせて、林床の下層植生衰退度調査などを行っています。生息数を把握するためのモニタリング調査を行い、データを活用しています。

【植生を守るための防鹿ネットの設置】



市民団体が中心となり設置

2018年9月4日の台風により崩壊

貴重な植生を守るために清水谷では、市民が中心となって、シカによる食害から守るための防護ネットを設置しています。

今年9月の台風により、ネット周辺のスギ・ヒノキが強風で倒れて、ネットは崩壊しましたが、数か月掛けて復旧していく予定です。

災害に強い森づくりのためには・・・

◆土砂災害防止機能の高い森林◆

【林相】多様な樹種からなる針広混交林、広葉樹林は各種災害に強い「壊れにくい森林」です

【樹冠】適度にうっ閉しており、林内は明るく、落葉・落枝の供給も豊富です

【樹幹】木の幹は太く、倒れにくい状態です

【下層】様々な草本類・木本類の植生に覆われており、荒廃現象は発生していません

【根系】深く、広い範囲によく発達しています

放置された人工林を、広葉樹が混じった災害に強い森に転換する必要があります。さまざまな課題に対して、どのように行えるのかを検討します。

- ①適地・適木の選定
 - ・溪流沿い・山腹・尾根沿いなど立地や地質に適した樹種、根系の土壌緊縛力の強い樹種の選定など
- ②苗木作りと植樹
 - ・遺伝子攪乱防止のための箕面市周辺での種子採取、数年かけての苗木育て及び植樹
- ③シカ害対策の実施
- ④適応的管理 など

出典：長野県 災害に強い森林づくり指針

災害に強い森づくりやまちづくりは長期に涉って総合的に考える必要があります。インフラ整備だけでなく、森林や河川、水田やため池、湿地の保全など、近年、自然生態系を活用した手法の重要性が着目されています。

立場の違う主体(行政や山林所有者、市民団体)が情報の共有化と意見交換を通じて、役割分担としながら、災害に強い森づくりのための総合的な対策を実施する必要があります。

みのお山麓保全ファンド助成 2月期の募集

公益信託「みのお山麓保全ファンド」は、四季折々に美しい箕面のみどり豊かな山麓を守り・育て・活かすために山林所有者や市民の活動を資金面から応援(助成)する仕組みです。

NPO法人山麓委員会では、市民団体や山林所有者の活動支援や「みのお山麓保全ファンド」の助成を活用した活動の相談、助成申請の受付などを行っています。お気軽にNPO山麓委員会(事務局)までご連絡ください。

◆申請受付期間:

2019年2月1日(金)～2月28日(木)

◆助成金額:○一般助成・・・1件あたり25万円以内

◆助成の流れ:

◆助成の流れ 申請受付(2/1～28) ⇒ 運営委員会で助成決定(3月下旬) ⇒ 助成(5月下旬ごろ)

* 申請書式等は、ホームページ(検索:山なみネット)をご参照ください。

◆対象となる事業期間

2019年4月1日～2020年3月31日

※特別助成(ハード整備)・・・1件あたり25万円超

平成30年度みのお山麓保全ファンド一般助成の実績

■山林所有者(自然緑地等指定同意書提出者)による活動を助成

件数:70件、金額:6,666,200円を助成 新規「自然緑地」同意2件

*山林整備サポート(ボランティアによる山の手入れの手伝い)要請件数:41件

■市民団体等による活動を助成

件数18団体、金額2,611,250円を助成 ※新規助成は1件



団体名	助成金額	団体名	助成金額
箕面の山パトロール隊	¥250,000	みのおエコクラブ	¥250,000
箕面だんだんクラブ	¥250,000	みのお森のふれあい広場運営委員会	¥156,000
しおんじ山の会	¥150,000	vitalink(ヴィタリンク)	¥49,000
杜の会	¥30,900	角谷 正朝	¥110,350
とんど山桜園の会	¥82,000	里山散策路をつくろう会	¥39,000
かやの中央まち育て交流会	¥250,000	昆虫科学教育館	¥145,000
外院の杜クラブ	¥20,000	箕面生物多様性会議(生きもの会議)	¥79,000
みのお竹林クラブ	¥60,000	ええみのお推進市民の会	¥250,000
箕面の森の音楽会実行委員会	¥250,000	明治の森箕面自然休養林管理運営協議会	¥190,000

箕面の山 災害復興募金にご協力をお願いします!



立地に適した広葉樹の苗育て



広葉樹の苗木の植樹



防鹿ネットの設置と補修

地形を把握して、その立地に適した樹種や根系の土壌緊縛力の強い樹種を選定することから着手します。あわせて、箕面の山から種子を採取し、3～5年かけて苗を育てて植樹します。植樹の際は、増えすぎたシカによる食害から守るためのネットを設置する必要があり、それらための資金として活用します。未来へつなぐ森づくり、災害に強い森づくりのための募金を受け付けています。3,000円以上、募金していただいた方には「箕面の自然と生き物」が収録されたDVDを進呈します。

NPO法人 みのお山麓保全委員会

〒562-0001 箕面市箕面6-3-1 みのおサンプラザ1号館2階211号室

電話&FAX:072-724-3615 携帯電話:090-1133-3615

メール:yama-nami@yama-nami.net

ホームページ:www.yama-nami.net(検索:山なみネット)

* 箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」

